

久しぶりの京都

大森 海太

昨年の暮、カミサンと娘夫婦と四人、大阪近郊のホールで孫娘の吹奏楽コンサートに出かけた。終わってから曾根崎の寿司屋で婿のご馳走になりその晩は大阪泊まり。翌朝彼はお仕事、娘とカミサンと私は久しぶりの京都に移動した。

京都駅から嵯峨野線で円町へ。そこから北に歩くこと約三〇分（女ふたりはバス）、衣笠山南麓、孫が通うR大学にたどり着いた。ここは初めてだけれど都会の喧騒を離れて落ちついた穏やかなキャンパスで、さぞ勉強もはかどるんじゃないか。しばらく三人で構内をぶらぶらしたあと記念撮影（自撮り）。

続いて西に一〇分ほどで龍安寺に至る。例の有名な石庭には様々な哲学的解釈もあるようだが、凡人の私にはイマイチだ。それよりも周囲の紅葉が初冬の陽光に映えて、気持ちよかった。

街中に戻って昼食のあと東洞院通四条下ル、かの北大路魯山人もご鼻肩だったという京漆器の老舗「アソベ」へ。ネクタイを締めた初老の番頭さんと昔話に花が咲く。十数年前、以前の店（高倉通）で二尺の脇取盆を買った話をしたら、イヤもうあんなものを作る職人が居りませんのや、大切に使用してくださいとのこと。せつかくなので朱塗りの椀をひとつ購入したが、毎朝のお粥にピッタリで値段も手ごろ、好い買い物をした。

そこで女たちと別れて京都市役所裏（寺町通二条上ル）これも京漆器の老舗「象彦」に向かう。いろいろな器の展示を見ながら店のオバサンと雑談。前に来たときは確か平安神宮の近くじゃなかったかな、ハイこちらに移ってもう八年になります。洗いやの焼酎マグカップに心がひかれたが、いささか高い。はやる気持ちを抑えて何も買わずに「また来ます」

店から河原町通に出て一路南に一時間弱のウォーキング。四条、五条、七条から烏丸通に出て駅前のホテルへ。イヤ、京都の街は晝盤の目で迷うことがない。ちよっと汗ばんだのでシャワーを浴び、夜はカミサンと近所の焼鳥屋にくつろいでイッパイ。久しぶりの京都も悪くない。